

博物館・歴史資料館だより

新寄贈資料と催し物のお知らせ

揖斐川町三輪下町地区の（鳳凰軸）の見送り幕が新調されたのに伴い明治以来これまで使用されてきた幕が資料館に寄贈されました。この幕は狩野光信が描いたと伝える「名王（玄宗皇帝）・楊貴妃図」によく似ているとされるもので、展示用に幕を納めるケースと展示台も併せて下町地区から寄贈を受けました。



資料館ではこの貴重な資料をできるだけ早く皆さんに見ていただけるよう準備を進めています。

企画展のお知らせ

資料館では《揖斐川の清流と鮎に關わる歴史展》を開催いたします。

■主な展示作品

浮遊鮎	水野柳人
鮎	福田翠光
鮎 色紙	大矢峻嶺
運上築 図	浅野春章
揖斐名所絵はがき	吉田初三郎
夕暁落築の頃	内田正爾
盛夏舟出の図	佐々木尚文
篝火	野原桜州



▲揖斐名所絵はがき



▲夕暁落築の頃

鮎色紙▶



◀運上築 図



▲鮎



▲浮遊鮎



▲篝火



▲盛夏舟出の図

新茶試飲体験講座開催

お茶の飲み比べ・味・香りの試飲体験をしてみませんか。

■日時 6月10日(日)

9時30分～12時

■会場 揖斐川歴史民俗資料館作業場

■申し込み 希望される方は資料館へ電話でお申し込み下さい。

TEL 22・5373

古文書読解講座のご案内

■日時 6月2日(土)

14時～16時

■会場 揖斐川歴史民俗資料館

【お問い合わせ】

揖斐川歴史民俗資料館

TEL 22・5373

いびがわ

特産品シリーズ カキドオシ (シソ科)

名前は「垣通し」の意味です。茎は這って伸びるので、難なく垣根越しが出来るのです。約2.5センチの円い葉が対生に2個ずつ着いています。何処までも地面を這って行きますが、葉の形と沢山連続しているので「連銭草」の名前も有ります。花をつける頃になると茎が立ち上がって来ます。シソ科の植物で唇形の花冠をつけます。葉の腋から2個ずつ咲きます。また民間では子供の疳を取り除くので「カントリソウ」の名前もあります。小児の疳、虚弱体質にはカキドオシが花を咲く頃に全草を刈り取り、水洗いして、日陰で乾燥したものを刻み、一日量5グラムを普通に煎じ、一日3回に分けて食間に服用します。利尿作用、消炎作用があり、黄疸、胆道結石、腎臓結石、膀胱結石にも用いられていますが、血糖降下作用があるので糖尿病患者にも応用できます。健康茶・伊吹百草の中には含まれていませんが、配合して利用する価値は有ります。



岐阜薬科大学名誉教授 水野瑞夫